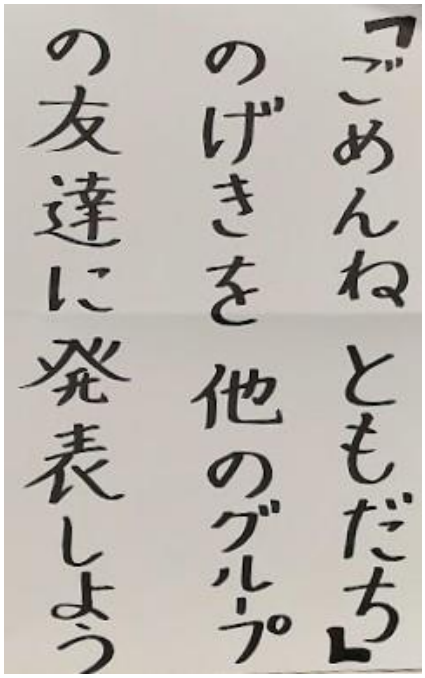
【学習過程の工夫】の手だて

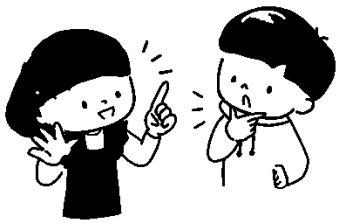
単元の学習過程を見通し、ゴール（劇）を示す

若草学級　「ごめんね　ともだち」の話を紹介しよう。



学習のゴールや学習計画を授業の初めに確認することを繰り返し、相手意識や目的意識を明確にもてるようにする。

劇をするために、台詞を覚えよう。
お話がよく分かるようにするためには、登場人物の気持ちを考えることが大事だね！



学習の流れをパターン化することで、児童は見通しをもち、安心して学習に取り組めるようになる。

～授業の流れ～

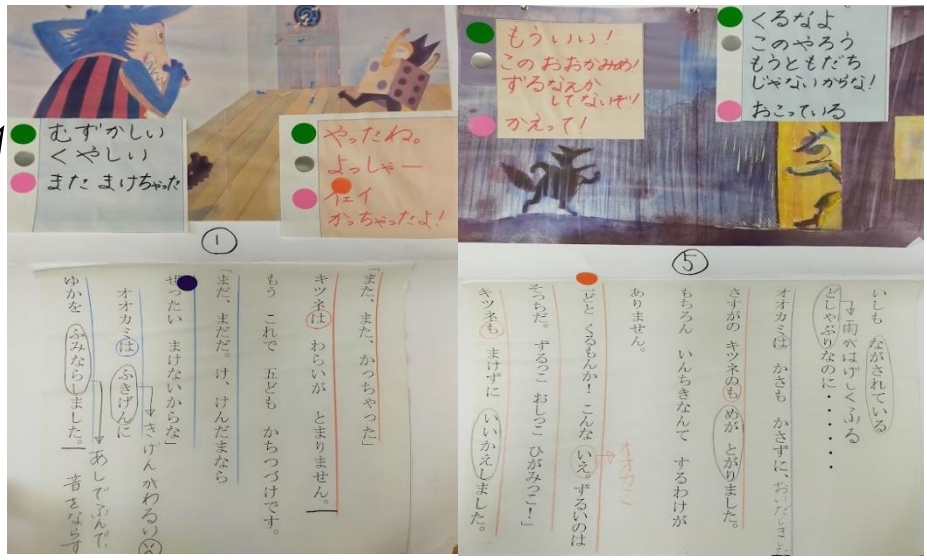
1. **前時の振り返り**
2. **場面の読み取り（挿絵）**
3. **音読**
4. **登場人物の言動にサイドラインを引く**
5. **言葉の意味確認**
6. **気持ちの記入（ワークシート）**
7. **役割演技**

②【考えを深めるため】の手だて

吹き出し（思考ツール）の活用で、思考を可視化！

若草学級　「ごめんね　ともだち」の話を紹介しよう。

登場人物の言葉や行動を人物ごとの色別シールで表示し、区別できるようにする。



キツネとオオカミの気持ちを考えるときには、考える手掛かりとして、表情カードや気持ちを表す言葉カードを使う。

きつねは、たのしがっているのかな。おこっているのかな。さびしいのかな。